

中国地方整備局事業評価監視委員会名簿

(平成19年1月29日現在、敬称略、順不同)

氏 名	所 属	専門分野等(専攻)
【委員長】 とちもと いさお 櫛 本 功	広島大学名誉教授	経済政策、地域経済
【副委員長】 みちうえ まさのり 道 上 正 規	(財)とっとり政策総合研究センター理事長	水工学、防災工学
いのうえ のりゆき 井 上 矩 之	福山大学工学部教授	交通工学,土木計画学
うえだ しげる 上 田 茂	鳥取大学工学部教授	海洋構造工学,港湾工学
うちだ かずこ 内 田 和 子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	地理学
すぎもと くにたろう 杉 元 邦太郎	島根大学名誉教授	地域開発論,地域計画
ちば きょうぞう 千 葉 喬 三	岡山大学学長	地域生態管理学
ほりうち ひでお 堀 内 日出夫	中国経済連合会専務理事	地域経済
むらた ひでかず 村 田 秀 一	山口大学副学長	基礎・土質工学
わかつき としじ 若 槻 俊 二	(株)エブリプラン総括顧問	地域経済

平成18年度 第3回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表

【再評価】

No.	事業種別	事業名	事業概要	経緯	該当要件	対応方針 (原案)	備考
1	道路	一般国道191号 <small>はぎ 秋</small> ・ <small>みすみ</small> 三隅道路	一般国道191号は、山口県下関市から萩市、島根県益田市を経由し広島県広島市に至る延長約295kmの主要な幹線道路である。 萩・三隅道路は、国道191号の現道通行規制区間の代替路を確保するとともに、広域交流を促進することを目的とした延長15.2kmの4車線道路である。	平成4年度 事業着手 平成13年度 事業再評価実施	再評価後 5年経過	事業継続	

【事後評価】

No.	事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1	河川	<small>こう かわ</small> 江の川下流河川改修事業 <small>さかもと</small> 坂本地区宅地等水防災対策事業	江の川は、広島県山県郡北広島町の阿佐山に源を發し、三次市で馬洗川、西城川、神野瀬川を三方向より合流し、島根県江津市を経て日本海に注ぐ、流域面積3,900km ² 、幹川流路延長194kmの中国地方最大の河川である。 坂本地区は、江の川下流部(26k700~27k400右岸)に位置し、出水時には本川水位上昇により、度々、浸水被害を受け、特に昭和47年7月の集中豪雨では壊滅的な被害を被った。 このため、早急な河川改修が必要となったが、従来の築堤方式での事業実施は、背後の山と堤防に挟まれた僅かな窪地に民地が残り、住環境が著しく悪化するとともに生活基盤となっている耕地が潰れる等の理由により、平成2年度に創設された「宅地等水防災対策事業(現在：土地利用一体型水防災事業)」により、江の川の治水安全度の向上を図ったものである。	H7~H13	
2	河川	<small>こう かわ</small> 江の川上流河川改修事業 <small>はたじき</small> 畠敷地区築堤・排水機場	三次市三次町願万地地区は、江の川水系馬洗川右岸に位置し、近年、宅地化が急速に進んでいる地区である。当地区は、治水対策の一環として平成9年度の堤防の締め切り完成によって、馬洗川の洪水による浸水被害はなくなったものの、洪水時には排水樋門を閉めることから、支川権現川や水路の排水環境が悪化し、降雨の状況によっては内水被害が発生する状況にあった。 このような二次的内水被害を解消するために、権現川が馬洗川に合流する地点に4.0m ³ /sの排水機場を建設したものである。また、排水機場と堤防の整備によって、馬洗川上流畠敷地区に設置している畠敷排水機場とあわせ、浸水被害の軽減を図るとともに、地域の振興に役立てるものである。	H11~H13	
3	河川	<small>こう かわ</small> 江の川上流河川改修事業 <small>しょうよど</small> 香淀地区宅地等水防災対策事業	江の川は、広島県山県郡北広島町の阿佐山に源を發し、三次市で馬洗川、西城川、神野瀬川を三方向より合流し、島根県江津市を経て日本海に注ぐ、流域面積3,900km ² 、幹川流路延長194kmの中国地方最大の河川である。 香淀地区宅地等水防災対策事業は、昭和47年7月豪雨により江の川全川に渡り甚大な被害を受け、これを契機に進められた三次市周辺の連続堤防整備に伴う、流量負荷増に対応するため行うものである。 香淀地区が位置する江の川中流部は、山間狭隘部であるため、通常の築堤方式では地域社会に与える影響が大きく、生活環境の悪化を招く箇所であるため、家屋の嵩上げなどにより治水安全度を確保する、「宅地等水防災対策事業」により改修を行ったものである。	H7~H13	
4	道路	一般国道2号 <small>おかやま</small> 岡山バイパス	一般国道2号は、大阪市を起点として瀬戸内海沿岸の主要都市を経由し北九州市に至る延長約690kmの主要幹線道路である。 岡山バイパスは、岡山市浅川~倉敷市大西に至る延長38.3kmの全国でも有数の大規模バイパスであり、昭和38年に事業着手し、平成14年に全線(一部暫定)供用を行ったものである。	S38~H14	
5	港湾	<small>ひろしま</small> 広島港 <small>はつかいち</small> 廿日市地区 国内物流ターミナル整備事業	広島港は平成4年に指定された特定重要港湾である。広島港廿日市地区の取扱貨物のうち、金属くずについては、取扱可能な岸壁がなかったためリサイクルを目的とした各地の製鉄所へは陸送となり、高い輸送コストを負担している実態があった。 また、製菓企業は、その原料野菜を取扱っていた岸壁の水深が浅いため、小型船の利用を余儀なくされていた。以上の課題を解消するため、廿日市地区における、金属くず貨物の輸送モードの転換及び、野菜の海上輸送における船舶の大型化による輸送コスト削減を目的として、本国内物流ターミナルを整備した。	H2~H13	
6	営繕	<small>まつえ</small> 松江地方合同庁舎	松江地方合同庁舎は老朽、狭あい等の問題を抱える官署が市内に多数散在していたことから、これら施設の行政サービスの向上および業務の効率化を図るとともに、国有財産の効率的な使用と適正な配置を図るため、これら官署を集約立体化し建設したものである。 規模：鉄骨鉄筋コンクリート造7階建て 他 延べ15,484m ²	H12~H15	

